

ムスリムのもてなし学ぶ



ムスリムやハラールについて理解を深めたムスリムインバウンドセミナー
＝6日、南九州市の知覧文化会館

南九州市で観光セミナー

世界に17億人いるとされるイスラム教徒（ムスリム）の観光客受け入れについて学ぶセミナーが6日、南九州市の知覧文化会館であった。観光関係者ら約30人が参加。ムスリ

ム観光客増加を見据え、アラビア語で「許されているもの」という意味のハラールなどについて理解を深めた。ムスリムやハラールに精通し、自治体や企

業を支援する「A-Commerce」（東京）の秋葉良和社長が講演。豚・アルコールを使用しないメニューを提供する店などを紹介するマップを作成した熊本市の事例を挙げ「ムスリムやハラールを理解し、できることから対応していくことが必要」と助言した。国内の受け入れ態勢はまだ不十分と指摘し「単独でなく自治体同士で連携し、準備をいち早く始めたところが優位に立つ」と強調した。

広域観光推進で連携する指宿、南九州の両市が企画。セミナーは指宿市民会館で7日も開催される。

（有馬知洋）

平成27年7月7日 ⑥
南日本新聞